

## 令和3年度事業計画

### 1. 基本方針

昨年の荒波船出を脱却し、生まれ変わったシルバー人材センターの運営に奔走し地域のシルバーエイジの生涯学習の場を提供することが肝要と考える。

『協働・共助』『自主・自立』の基本理念に基づいて、共に仲良く働き、生き生きと生涯現役で社会参加できる環境作りに努める。

### 2. 重点施策と実施計画

#### (1) 組織体制と運営の強化

会員、事務局職員、役員それぞれが果たすべく役割責任を確認しながら環境変化に組織的に対応し得る体質を作る。

会員は、発注者の要望に応え、誠実な仕事ができるよう努めるとともに、班ごとに個々の役割を再認識し、その活性化に努める。

職員は、事業運営の実務担当として関連するルールの遵守とスキルの向上を図る。基本に忠実に、実務の遂行をすることと、会員の円滑な活動に配慮する。

役員は、速やかな意思決定、的確な指示の発信。また、事務局の実務内容の把握と理解を求めるよう努める。

#### (2) 安全・適性就業の推進

会員自らが健康管理の維持に努め、協働・共助によって、事故やケガの無い安全な就業を目指す。

- ① 入会説明会や就業開始時でも随時安全教育を行い、意識の高揚を図る。
- ② 就業時は、機械の始業点検・就業点検を行い、安全の確保に努める。
- ③ 各就業場所では、班長を中心に支持・行動するようにする。
- ④ メンバーや仕事内容のローテーションをし、就業の公平化を図る。
- ⑤ 安全・適性就業委員会の活動を活発に行い、パトロールをまめに実施する。

### 3. 新規会員の確保

新会員の目標値に向けて、会員確保とそれに比例した就業の拡大を目指せるよう会員の意向を知り、生涯学習の場をつくるべく努力する。

- ① 近隣の企業に訪問し、就業確保に努める。
- ② フレキシブルな対応ができるように会員の就業機会の拡大を図る。
- ③ 内職など、新規の就業機会の確保をする。
- ④ 入会説明会の実施に加え、毎日会員に向けて発行している事務所だよりに情報を掲載し、新会員の加入を図る。

### 4. 会員の福利厚生

昨年から続くコロナ禍において、会員のためにできることを模索し、様々な可能性を見いだすことに努める。

会員相互の仲間意識と信頼関係の向上を目指す。

- ① 年末、年度末など 節目に慰労会を実施する。
- ② 会員の意思を尊重し、できれば親睦会を立ち上げたい。

### 5. 広報・ボランティア活動について

当シルバー人材センターの存在と、運営状況の発信をし、認知度を高めるよう広報活動をする。

- ① ホームページを更新し、法人としての情報公開に供する。
- ② 地域のイベントに積極的に参画する。

### 6. 行政・関連団体との連携強化

シルバー人材センターの運営には、町の行政や関連機関からのご支援が不可欠であり、信頼関係の強化を図ります。

- ① 町行政や関連機関との報告・連絡・相談を密に行う。
- ② 東総地区のお付き合いを大切にし、互いの情報交換を積極的に行う。
- ③ 全シ協、千シ連との連絡と報告をし、情報交換をする。